

2013.06.22

「参議院滋賀県選挙区の二之湯たけしさんを宜しくお願いします」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日はビデオレター特別版であります。次期参議院選挙の候補者で、昔からの友人である二之湯たけし君を紹介したいと思います。本日の6月22日、京都リーガロイヤルホテルで、全国特定郵便局長会の元会長で、現在は顧問をしておられます、つげ芳文さんの決起大会があり、二人とも招待されたので、参加して来ました。

まず、たけし君は今回の選挙に公募で選ばれたわけですが、有権者に訴えたいことをどうぞ。

二之湯候補「私は過去7年間、民間で教育関係の仕事をしていました。これから将来を担う子供達の現状に強い危機感を抱いています。そして、日本の伝統、文化、歴史に基盤を置き、高い道德意識や学力が身につくようにしなければならない、ということを私のテーマとして訴えたいと思っています。」

西田「彼は京都大学を卒業しまして、政経塾、稲盛財団という、全て私と敵対しているところばかりであります。(笑)しかし、彼は非常に優秀で、修験道の修行などもなさっています。お子さんはいらっしゃるのですか。」

二之湯候補「子供は2人います。」

西田「このように家庭も持っています。しっかり家庭を守っているということで、私は自民党の常識、日本の伝統や文化といった常識をしっかりと発揮し

て頂き頑張って欲しいと思っています。今の手応えはどのような感じですか。」

二之湯「やはり、全国的にも党への支持率が高く、街頭に立ちましても「頑張れ。」という声を頂いております。このような声援をしっかりと胸に秘めて、気を抜くことなく最後の最後まで頑張っていきたいと思います。」

西田「私もそうなのですが、滋賀県は一人区で、何かが起こると一変に情勢が変化します。私の京都は二人区で、前回の選挙の時は安倍総理で、今回も安倍総理の下での選挙であります。たまたま今回は支持率が高いのですが、前回は同じ事を言ってもバッシングされておりました。このように世間の風や空気はどこで変わるかわかりませんし、私は今回の支持率が高い、低いは関係なしに、自分が持っている信念・思っていることを真剣に一人一人に訴えていき、その中で判断して貰いたいです。二之湯候補もそうですね。」

二之湯候補「そうです。」

西田「とにかく、今まで自分が思っていたことを主張すればいいし、若い頃から政治に志を持っていた若者でありますので、いよいよ、そのチャンスが天から与えられたわけです。」

二之湯候補「そうです。懸命に、しっかりと頑張っていきたいと思います。」

西田「頑張ってください。」